

役員室 だより

平成25年度計画の策定

第2期の4年目となる平成25年度計画の策定については、企画評価担当者が中心となり、各部局、各担当理事と調整しながら取りまとめることとしています。

策定スケジュールは次のとおりです。

【策定スケジュール(予定)】

平成24年10月～12月

各部局で部局年度計画を作成

平成24年11月～平成25年1月

部局年度計画を踏まえ各担当理事が大学年度計画(素案)を作成

平成25年1月

企画評価担当で大学年度計画(原案)を作成

平成25年2月

各担当理事、各部局あてに意見照会し、提出された意見を踏まえ企画評価担当で大学年度計画(案)を作成

平成25年3月

関係会議に附議し、大学年度計画を策定

平成25年3月末

文部科学省へ提出

大阪大学アーカイブズの設置

10月1日に、大阪大学アーカイブズを箕面キャンパスに設置しました。

アーカイブズは、法人文書のうち歴史的価値を有する文書および本学の歴史に関する資料を適切に管理することを目的として設置され、法人文書資料部門と大学史資料部門の二つの部門で構成されます。阿部武司室長(経済学研究科教授)のもと、専任教員の菅真城准教授のほか、12名の兼任教員がアーカイブズのスタッフとして、箕面キャンパス管理棟で活動します。今後は、目録の作成や書庫への排架など一般利用に供する準備を進め、本格的なアーカイブズの活動を開始する予定です。

大阪大学が「22世紀に輝く」ためには、「地域に生き世界に伸びる」大学としてのあゆみを示す資料(法人文書および歴史的資料)を適切に保存し、それを活用して「未来戦略」を立てなければなりません。アーカイブズは、これらの資料を本学のみならず社会一般に公開するために、基盤的役割を果たしていきます。

中之島センター 活性化のためのプラン

中之島センター活用計画策定ワーキングにおいて策定した「活性化のためのプラン」を9月の部局長会議で報告しました。中之島センターを「第4のキャンパス」として有効活用を図るとともに、多くの教職員、学生及び市民で賑わい、スペースの利用率を向上させることを目指すことにするものです。

1～3年程度の短期を「トライアル期間」と位置づけ、センターの利用促進につながるインセンティブを与えるために利用に係る規制緩和や1年間の期限付きで「特別割引制度」の導入などを図ることとしております。これは、大阪大学関係者が、講義室・会議室・ホールを使用した場合に、使用料の全額を免除する制度です。現在、適用の範囲、申し込み方法などの具体策を検討中です。

さらに、大阪大学の教育研究、社会貢献に資する組織によるプロジェクト的利用の常時利用についても「特別割引制度」を適用し、年間貸付料の優遇措置を検討します。ただし、3年後にはその利用状況や稼働状況を検証し、貸付制度を再検討する予定です。

詳細については、中之島センター活性化ワーキングにおいて検討の後、お知らせいたします。



阪大未来パレット

— 阪大の未来を理事と話してみませんか —



阪大未来パレットは、大阪大学内の異なる役割を担う様々な人達が集まり、コミュニケーションをとることを目的に開催しています。今回(8月下旬から全8回開催)は、「もし、あなたが大阪大学の経営者だったら」というテーマで、年齢、職種も様々な20部局56名から出されたバリエーション豊かなアイデアをもとに、笑いも起こる和やかな雰囲気で行われました。

また、この機会を利用して、懇談とは別に、各理事から「大阪大学未来戦略(2012-2015) —22世紀に輝く—」に込めた熱い思いも語っていただきました。

この企画は、下のやり取りのように、リラックスした雰囲気の中で、いろんな人とまじめに楽しく意見を交わしながら、いろいろな気づきが得られる場です。

阪大未来パレットは今後も続いていきますので、まだ参加したことのない方も、一度参加してみませんか?

(総長秘書室プロジェクトマネジメント・チーム(PMT))

Aさん

「(自分が経営者だったら)同じキャンパスで行う银杏祭、まちかね祭を1回にまとめて規模を大きくしたいです。」

「例えば、豊中キャンパスの場合、盛り上がっているのが分かるのは全学教育の方面だけなので、キャンパス全体でお祭り感を感じられるように理学部付近まで規模を拡げて、地域の方にももっと参加いただけるものになれば良いと考えました。」

下田さん(理事補佐)

「阪大の良さは多様性と一体感だと思うので、色々な人が交流しながら一緒に盛り上げていくのが良いですね。教職員も参加して、大学全体のお祭りにしたいんじゃないかな。」

Bさん

「じゃあ、職員も出店をすれば良いですね。」

Cさん

「規模が大きくなる分、安全面を考慮する必要もありますね。」

下田さん

「そうですね。企業とは異なる、大学だからこそ出来る文化というのがあっていいですね。」

阿部さん(理事)

「なるほど。豊中は、学生目線のアイデアが多いですね。」



大阪大学会館 セミナー室2 (平成24年9月7日開催)

※詳細はマイハンドイに掲載しております。(マイハンドイ > 大学本部事務機構 > プロジェクトマネジメントチーム(PMT)関係)

他の回の様子



免疫学フロンティア研究センター棟5階・Lounge (平成24年8月24日開催)



基礎工学部2ホール・ホワイト (平成24年9月21日開催)

参加してどうでしたか?



教育担当理事
東島さん

大学をより良くするには、みんなが意識を共有することが大事。そのためのパレットになれば良いですね。

法人化以降、大学は自分で自分を良くしていく必要があって、全ての学生に「大阪大学に入って良かった。」と思ってもらいたいし、大学で働く人には「大阪大学で働けて良かった。」と思ってもらいたい。

これを実現しようと思ったら、教員だけが頑張ってもできないし、職員だけが頑張ってもできない。そこには、共同作業が必要で、各々が自分たちの問題だと認識して取り組むことが重要だと思うんですね。このパレットを、そういうものを作り上げていくための場にしていけたらいいですね。



理学部技術職員
古木さん

参加者がお互いに刺激を受け、与え合う場なので、若い人達にもっと経験してほしいですね。

今回参加しようと思ったのは、自分は技術職員なので、技術職員の視点で考えた意見を学内に発信していかないと、と思ったのがきっかけです。

参加してみると、色々な職種の幅広い年齢層の方がいらっしゃるの、自分ではなかなか思いつかないようなアイデアに触れ、刺激をもらいますし、視野が広がった感じです。

機会があれば、次回も参加したいですね。良い機会なので、若手の技術職員にもっと参加してほしいですね。



財務部事務職員
山崎さん

迷ってるなら「参加してみるといいよ。」と声をかけてあげたいですね。

参加する前は、理事の先生に対して、話づらいイメージがあって緊張していたのですが、理事が「2歳になるお孫さんがマイブーム」と話されたの聞いて、身近に感じられましたし緊張もほぐれました(笑)。

今回のテーマは、普段はあまり考えない壮大なものだったし、自分自身の経験も浅いので、自分の考えてきた意見を話すことに少し気後れしていましたが、理事からも気さくにコメントを返していただけて、楽しく話しやすい雰囲気でした。

もし、参加しようか迷っている後輩がいたら、「参加してみるといいよ。」と声をかけてあげたいですね。